

のぼりざるフェスタ 2年ぶり開催

県北の事業者が出展 地場産品PR

あすから

11/12
あすから始まる県北地区最大の観光物産展「のぼりざるフェスタTogether 2021」(同実行委員会主催)。2年ぶりに開催される今回のテーマは「笑顔、笑う門には福来る」。県北の事業者が多数出展するほか、会場内の様子をインターネットで生配信する企画などで盛り上げる。会場は延岡市本小路の城山公園北駐車場。14日まで。

会場変更し感染症対策万全に



多くの人出でにぎわった2019年の「のぼりざるフェスタTogether」。2年ぶり開催となる今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場を例年の中町通りから城山公園北駐車場に変更して行われる



のぼりざるフェスタは1983年、市制施行50周年を記念して市内の「産業まつり」として始まり、90年に「のぼりざるフェスタ」に改称、93年に県北一円へ地域を広げて現名称となった。以来、今年から入場ゲートを設けて、検温や手指消毒など

来、地場産品のPRや販路拡大など県北地域の地場産品の活性化を目的に開催されている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2019年以来、2年ぶりとなる今回は感染拡大防止の観点から入場ゲートを設けて、検温や手指消毒など

通りから城山公園北駐車場に会場を変更した。会場内には出展各事業者のブースを設け、地場産品を販売。子どもが延岡市の伝統工芸品「のぼりざる」の格好をして木の棒を登る恒例イベント「わんぱくのぼりざる」(料金1回300円、カレンター込み)もある。ステージでは13日午後2時30分と14日午後2時の2回、「匠(たくみ)の技

に迫る菓子職人」が行われる。本部横のテントでは13、14の両日午前11時〜午後4時(最終受け付けは同3時)まで「のぼるくんフェルトワッペン教室」を開催する。参加料は500円(ニードル別売り100円)。所要時間は30分程度。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、飲食スペースを設けず、会場内での飲食は禁止。会場周辺での飲食についても控えるよう呼び掛ける。また、恒例イベントの「赤ちゃんハイハイ競争」(鮎(あゆ)のつかみ取り)は実施されない。

会場図

